

## 決断力

### 「決断力」

マンガ「スラムダンク」ではないですが、この言葉が、最近、気になります。「YES」「NO」のはっきりと言える選手の少なくなったと思う今日この頃です。返事も何もしないで、解決？したと考える選手が、増えてきています。これは、バスケットボールだけの問題ではありません。たとえば、ディフェンスにおいて相手がスクリーンを使用してきた場合、「スクリーン」の声は出るのですが、次に、どう対応するか判断ができない、決断できない選手がいます。バスケットボールに100%のプレイは存在しないと考えます。では、確率の高いプレイを選択(決断)することが大切です。今日の遠征のゲームで特に感じました

## 国体練習1

本日、国体練習(2005少年男子)の2回目を行いました。選手のうち、何名か欠席でしたが、協力選手もいれて暑い中よく頑張りました。特に、2年生の国体協力選手は、先輩たちに追いつこうと必死のプレイも見せてくれました。3年生もプライドを持って頑張ってくれました。大変、緊迫した中での練習と試合でした。この雰囲気が続けていけば、長崎県チームの向上は間違いありません。お互い切磋琢磨です。普段は、違うチームですが、一つになる姿は、頼もしくうりました。

## 校内競技大会

今日は、校内競技大会(クラスマッチの球技大会)が行われました。バスケットボール部員もいろいろな種目に参加し、クラスのためにチームのために貢献していました。たかが校内大会でも、生徒たち(バスケットボール部員に限らず)は必死です。クラスメイトの応援、担任の応援など普段の生活とは違う場面があります。

さて、その中の一コマです。

ソフトボール女子の試合でのサヨナラ場面です。打席に入るのは普段はおとなしく目立たない生徒です。しかし、結果はサヨナラヒットです。チームメイトからの大大賞賛でした。

この時、彼女はどのような気持ちでバッターボックスにいたのでしょうか。「必ず打ってやる」「思いっきりバツとを振ろう」「負けたらどうしよか」「この場から逃げたいな」「……」などいろいろなことが考えられます。

このことは、試合に臨む時の心理状況と全く同じではないでしょうか。

## 選手推戴式

本日は、1学期の終業式並びにインターハイ選手推戴式がありました。本校からは、バスケットボール(男)、登山(男)水泳の個人(男、女)の出場です。プラスバンド部の行進演奏に合わせて行進し、体育館ステージ上にて選手一人一人の呼名があり、最後に岡主将の決意表明がありました。校長先生より激励の言葉をいただき、身の引き締まる思いではなかったと思います。

さあー インターハイです。選手は、どんな気持ちで迎えるのでしょうか。

2005年千葉きらめき総体 「輝きを胸に 夢をその手に 房総の夏」  
大会スローガンのように長崎西高校バスケットボール部もいきたいですね。

## 夏季休業

本日より夏季休業がスタートしました。しかし、現実とは違います。本校は、夏季休業中に12日間の授業日と4日間の夏季課外授業日があり、8月25日より2学期が始まります。ですから、本日は1、2年生は8時10分より4時間授業、3年生は6時間授業という内容で、普段とあまり変わりません。本校だけに限りませんが、高校生の真の夏休みは、ほんの数日しかありません。1日24時間は、すべての人にとって平等に与えられています。これを、どのように使うかです。目標の実現のために、必要な時間配分を考えてほしいと思います。「時間を有効に使う、使える人になる」  
私自身にも言い聞かせたいです。

## 愛情

指導者は、愛情がなくては、指導はできません。では、「愛情」とはなんのでしょうか。よく言われるのが、優しさです。子供(生徒)を指導するのに、優しさを抜きにはできません。しかし、「優しさ」とは何でしょうか。子供(生徒)の言うとおりにすることとは違います。優しさを逆にとらえると、社会の厳しさを教えることも優しさではないのでしょうか。世の中には、やらなければいけないこととやっではいけないことがあります。この辺を、指導できない人が増えているような感じがします。  
悪いことは悪い。いいことはいい。

## 福岡遠征

7月23、24日と福岡遠征を行いました。  
23日 福大大濠 24日 福翔  
この2日間で、試合を通じて学んだこと、集団生活を通じて学んだことがそれぞれあったと思います。今回注目したいのが「挨拶」です。いろんな場所や場面で様々な挨拶があります。私自身が考えるのは、相手が不愉快になる挨拶(本当は挨拶とは言わない。)は最低であると思います。かたちだけの挨拶は、極端な話やらない方がまだだと思います。挨拶された人々が、気持ちよくなる、心地よくなるのが挨拶だと思います。人間、第一印象が大切です。挨拶のできる生徒を育てなければならぬし、そのための指導は妥協できません。

## 国体練習2

本日3回目の国体練習を行いました。ウォームアップ終了後速攻の練習そしてゲーム形式を行いました。  
長崎西 対 国体少年男子  
少年男子は、3年生の力が徐々に戻ってきている状態です。長崎西は、夏バテなのか、動きに精彩がありません。やるべきプレイとやられてはいけないプレイなど全くわかっていません。何のための練習か考えてほしい場面が多々ありました。IHまであと1週間、修正を加えながら頑張ります。

## 遠征メンバー

バスケットボールには、大会ごとにベンチに入れるメンバー(エントリーメンバー)が決まっています。公式戦はもちろん招待試合などを含めて、ベンチ入り(人数)が決まります。選手は、当然、ベンチ入りを目指して、日々練習しています。コーチもチームにとって、ベストなメンバーを選出するために頭を痛めます。さて、「遠征メンバー」ですが、本校の遠征(県外への練習試合や招待試合)は、試合同様全員が参加できません。選ばれたメンバーのみの参加です。だから、遠征に選ばれないと次の公式戦のベンチメンバーに入ることが、難しいこともあります。つまり、遠征メンバーから絞られたメンバーが、ベンチ入りするということが多いです。いろいろなことを考え迷いましたが、やっと今決まりました。

さあー、明日はIHに伴う遠征メンバーの発表です。  
メンバーは、選ばれなかった選手の方まで頑張ってもらいたいし、選ばれなかったメンバーは、次回のために努力して下さい。

## IHに向けて

明日、IHに向けて出発します。1回戦まで4日間余りありますが、千葉(=東京)に慣れるために、いつもより早く出発します。特に、今回はバスの移動ではなく、JRなどの公共交通機関での移動ですので、その点も大変です。ウインターカップは、JR乗り換えなしの宿舎ですが、今回は何度となく乗り換えての移動が必要です。試合前の移動で、負けてしまいそうぐらいです。環境に順応する力が欠ける生徒が多い時代ですので、いち早く環境に慣れることを第一に調整していきます。更新が怠るかもしれませんが、IHに集中します。